



西尾 寿博 議員

公約実現に向かう姿勢は

町長

自主財源の増加を目指す

〔西尾〕町長公約の実現には、スピード感を感じる矢継ぎばやの事業決定に期待もあるが拙速の感もある。
費用対効果、財源確保等の調査検討が重要では。

〔町長〕平成28年度決算の自主財源の比率が25・6%、今後、30%を目指す。

〔西尾〕若者の流出を食いとめる成長産業の誘致の取り組みは。

〔町長〕事務系の事務所などの誘致が必要だ。

〔西尾〕診療所のあり方は。



問われる地域医療の拠点

〔町長〕地域医療の拠点として大事だが、採算合わせで人間ドックを大山診療所でやるというのは無理がある。

〔西尾〕町有施設のあり方は。

〔町長〕地域の体育館は各トレセンを残していくという方向で進んでいる。他は地域の管理というふうになっている。

〔西尾〕行財政改革は、人員削減か。

〔町長〕支所は今のまま、職員を減らし何でも委託という方法はない。

北朝鮮の脅威は

町長

非常に難しい問題だ

〔西尾〕もし、第二次朝鮮戦争が起き、日本にミサイルが飛んで来れば甚大な災害が降りかかる。
見識は。

〔町長〕Jアラートは正常に動いたが、ミサイルが飛んできたときの対策は非常に難しい。

〔西尾〕有事の際の対策や情報交換など、近隣の自治体と連携をはかることも必要ではないか。

〔町長〕支援などの連携は必要かと思う。まず、そのような事態が起らないよう願っている。

